

会議録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開催日時	令和3年5月13日(木) 開会； 18時30分・閉会； 19時15分	
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	阿久津彰良、溝上俊亮、島田 喬、馬渡夏美、澤田千尋、鳥塚智子、本木瑞穂、出雲秀章、川島 治、	
欠席者(委員)氏名	堀内 規、吉田和也、江黒 徹、原 寛和、加藤里美	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当	
会議内容	今年度の研修について (タイトル、日時、場所、方法、目的、デザイン、必要物品等)	
会議資料	(資料名・概要等) ふらっと研修企画(案)	
その他必要事項		
会議録の確定	確定年月日 令和3年7月8日	主宰者記名押印 阿久津彰良 溝上俊亮

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	[開会] 18:30
阿久津委員	<p>皆さんこんばんは、宜しくお願ひします。皆さんから企画書を提出して頂いた。どの案がいいか難しいと思うが、今の状態に合っているものを上げて下さい。3名の方から出して頂いている。PRをお願いします。</p>
島田委員	<p>先日の会議の方向性から逆算した。タイトルは皆さん同じ様なニュアンスだと思う。この間の会議で出ていた掴みの話があったので、こんなタイトルをつけた。日時は7月という話しで、詳しく入れず某日にした。時間は、前後に感染対策の時間がかかるので1時間半位。場所は「みらい」。目的は、この間の会議で出たものを箇条書きしているだけ。必要物品に関しては、スプレー、飛沫パーテーション、フェイスガード。今後の継続的という所で録画をしたい。Zoomでも良い。録画が出来るので次に使えるし、どんな事をしたか振りりができる。</p>
阿久津委員	では馬渡委員お願ひします。
馬渡委員	<p>はい。島田委員と大体似ている。新型コロナウイルスの感染症対応を1年振り返り、出来ている事、出来ていない事を各事業所で確認できる機会と思いこのテーマにした。各事業所で、多職種、医療、介護、福祉、行政と連携しないと解決できない問題点や課題について確認し、まだ顕在化していない課題や炙り出されていない事が研修会で話す事によって出てくる。感染症対策の一般的なところは共有できていると思うが、施設とか訪問系、通所系はサービスの形態によって感染対策上の配慮を特別にしなくてはいけないところがあるので、そこはグループで分かれ出せばより効果的な話し合いができる。感染拡大によって研</p>

修が中断しないよう会場に集会して行う場合と、感染拡大があれば Zoom の研修に切り替えられる様な形で対応を考え 2 つ書いた。会場に関しては島田委員が詳しくデザインして下さっているがそれを進めて行けば良い。グループ討議だと話し過ぎてしまうのでそこをどうするかという所と、Zoom で行う場合一方的に発表者が話をする感じになるが、Zoom でグループに分かれれて討議して、ひとつのオンライン上でやる方法や、グーグルクロームで意見を入れていけば皆で見られる。やり方は分からないうが、そういう形ならオンライン上でもグループワークができると思う。もう一つは去年から言っている研修の形態だが、集会にするのか、Zoom にするのかというところ。感染流行状況によって、集会にするか Zoom に切り替えるか基準があると早く準備できる。

阿久津委員

では溝上委員お願いします。

溝上委員

はい。内容は皆が集まる話題、コロナで良い。この集まり自体が医介連携の研修部会なので、自分としては医介連携の研修企画でコロナを材料として、最終的にだから医介連携が必要なんだと最後そう落とし込めるのであれば内容的には何でも良いと思う。

阿久津委員

題材をコロナにし、医介連携という枠組みを説明する。タイトルは別にしても日時とか方法、Zoom か対面、あとは基準というところ。私の考えはその時その時で良いと思うが、今インド型が流行ってきているので益々どうなるか分からない。今の状況だと対面は厳しい。基準の枠は決めないで臨機応変に考える。

澤田委員

今のこの状態で対面だとかなり物品数も違ってくる。オンラインでやるとしても準備が必要だから、基準もそうだがこの企画の段階でどちらにするか決めてしまった方が良い。

阿久津委員	私もそう思う。対面は無理。オンラインが良い。
馬渡委員	その方が安心です。
阿久津委員	確かに。先程馬渡委員が仰った Zoom でグループワークの件、ブレイクアウトルームですね、Zoom でやっている所からグループに行って、ある一定の時間になつたら戻ってくる、ただし、対面とは違って話す人は一方的に一人という感じになつてしまうので、対面のグループワークとはイメージが違う。
澤田委員	やってみた感じでは普通に近かった。
馬渡委員	ファシリテーターの方が時間配分すれば良い。 }
阿久津委員	そうですね。 同時に話す事は出来ないが。
澤田委員	少しくらいなら出来る。
馬渡委員	ひとり誰かいないと無理だが、ひとりの人がずっと話していくと時間オーバーになつてしまうので。
阿久津委員	そういうやり方でグループワークは可能だという事は分かっている。Zoom でグループワークをするとなつた場合、一度練習した方が良い。
澤田委員	そうなると 7 月の実施は難しい。
阿久津委員	市が今凄く大変な時期。それぞれの職種の人が、本当にこのコロナに対策でいいのだろうかと不安に思つてゐると思う。大切

	な事なので、なるべく早く共有したいが厳しいか。コロナに関する感染症対策を馬渡委員が施設系、通所系、居宅系と書いている。
澤田委員	これに病院を入れたら更に医介連携が出来る。施設側から見れば医療のやっている感染対策は 120%位。施設は 100%を目指すにはどうしたら良いか、物品なのか、手袋絶対しないと駄目なのかとか色々あるだろうから、施設側もそうなんだと分かると思う。
馬渡委員	島田委員がどのくらいの時間で割り振りするか。
阿久津委員	沢山お話ししたい人もいるでしょうから。
馬渡委員	話を聞くだけなら病院、施設、通所 15 分。
阿久津委員	トータル時間をどの位にするかによって割り当てる。時間的に 20 時が妥当と思うが、18 時半から 20 時で宜しいか？
澤田委員	Zoom なら移動がないから 18 時からでも可能では？
阿久津委員	他の事業所さんは如何か？
出雲委員	参加するのは代表者になると思うので、18 時でも可能。
澤田委員	Zoom で 18 時半だと退勤後なので時間が空いてしまう。
阿久津委員	では 18 時からで。
溝上委員	現場に出てもらうのであれば日勤 18 時という所が多い。

澤田委員	18時15分でも。
阿久津委員	では18時15分から20時で。発表形式でやってその後、最後に中央病院の対策の話を入れる。その後病院が病院の対策はこうしていますと発表し、グループワークに入れずに中央病院のクラスター対策をどうやってきたかを入れて終了とするか、グループワークを短い時間で入れて終了とするか。
島田委員	グループワークをスムーズにする為の研修を入れないといけないかもしない。
阿久津委員	そうですね。
島田委員	コロナの共有のスピードを速くするのか、考えを言ってもらって後回しにするか。今の話だとどちらに重きを置くか。
澤田委員	グループワーク研修と、この後いつかはやらないといけない問題になると思う。落ち着けばいいけれど、今年度一杯で対面ができるとは思えない。やっておかないと研修が止まってしまう。
阿久津委員	コロナ感染対策を急いで先行してこの次はグループワークってどうやるの？っていう事をやるというのもあり。
島田委員	医介連携まで持ち込むのだったらグループワークを先にやった方が良い。
溝上委員	ファシリテーターの方で今から通所の事業所代表の方に発表してもらいますみたいな時間を与えて、施設系でも通所系でも聞いている話で入居系、施設系に取り入れられるなというのもある。グループワークは必要ない。
阿久津委員	秋か冬にグループワークについてやる。

溝上委員	最後に答え合わせする。4種類の所にこんな対策しましたみたいな。
島田委員	1時間40分あるから結構できるかもしれない。上手く裁ければだが。
阿久津委員	その前に練習しないといけない。
澤田委員	一度ここでコロナで共有して。グループワークの練習しその後もう一回コロナが治まらないから時間を置いてもう一回コロナでグループワークを目指すというのもひとつ。出来ないですかね。
溝上委員	冬になりますから。
澤田委員	すみません、今言った事は気にしないで下さい。
阿久津委員	発表は10分だと1団体短いのではないかと思う。
澤田委員	全部にやってもらうのですか？
阿久津委員	いいえ、4つを選び出してやっていただこうかなと思う。
馬渡委員	1施設で喋るのは結構きつい。
阿久津委員	きついですか？
澤田委員	自分一人で10分行けますか？リハビリ。
溝上委員	経験があるから逆に10分は少ないと思う。そうでない所は

	10分は長く感じる。事業所の熱による。
澤田委員	中央病院さんの最後の発表は長いのですよね？それ以外の発表という事ですよね？
溝上委員	発表すると結構10分は早い。
澤田委員	対策だけですよね？
溝上委員	対策だけだと10分は長いなと思うが、そこは事業所が対策にどれだけ熱を入れているか。事前に考えてもらわないと。
島田委員	そうですね、さもなければ司会の人に参加する事業所とかがグループピングしておいて時間調整で選んでもらう。長かったら1個で終わり、終わり短かったらもう1個お願いしますと調整する。
阿久津委員	共通した方がいい。時間内で収めて下さいと。
馬渡委員	余る分には良い。
澤田委員	10分の間に1~2分入れて帳尻合わせれば。
阿久津委員	最後大取りをしてもらえたらしいですね。
溝上委員	最後どうやって医介連携に？
阿久津委員	各介護系、病院系で話しができ理解できたと思うが1事業所だけで対策したとしても皆で纏めて話し合いをした方が医介連携になるんだという感じで落とし込む。ここで挙げている施設系というのは特養ですか？

馬渡委員	そうです。特養、ケアハウス、グループホーム。
阿久津委員	居宅系は在宅の方ですね。
馬渡委員	はい。訪問サービス系。
阿久津委員	訪問系通所系、あと施設系ですね。
澤田委員	ケアマネさんにもどう対策をしているのか聞きたい。
阿久津委員	そうですね聞きたいですね。
澤田委員	ヘルパーさんもそうですが。職種で分けた方が良いですか？
阿久津委員	凄い数になる。
澤田委員	言ってみただけです、すみません。
馬渡委員	でも職種でも接触が多いリハビリと接触遠いかない職種がある。
澤田委員	でもリハビリは若干ズレはありますよね？
阿久津委員	そうですね。でもそんなに時間かけられないと思う。
澤田委員	そうすると施設内でのその事業所内のその人達はこうやっているという様にしてもらう方が良い。
阿久津委員	結局そのひとつ選び出した施設が、こういう対策している、うちはもうちょっと対策しているなというのが分かれば今回は良いと思っている。では4部門で。最後にクラスターの話を入れる。結局5部門という事になるか。どの事業所を選ぶかによつ

	て、話しあは変わってくるかもしれないが。
澤田委員	立候補で募ってみる。
阿久津委員	手を挙げる所があると思いますか？
馬渡委員	ないような気もするが一応聞いてみますか。
阿久津委員	一応決めた方が良い。応じてくれるかどうかはこれから交渉になるか。今の形で大体認識は共有できましたか？
全委員	はい。
溝上委員	適当に選んでもらうなり、纏めてもらう。施設も通所連絡会もあるし、事業所ごとで誰かやりたい人でもいいし、各通所に聞いて、纏めて通所ならどこでもやっています、特殊な例としてこんな事やっていますみたいなそこはもう団体さんにお任せする。
阿久津委員	纏めるのかもしれないね。
溝上委員	でもそれを10分で。
阿久津委員	1事業所の方が楽なんじゃないかな。
澤田委員	確かに団体でやれば事業所名は出ないから本当の所は聞ける。
馬渡委員	訪問看護だけで話をすると多分出ない。
阿久津委員	そうですね。

馬渡委員	こうだよね、ああだよねと言ったらひとつに纏められるかもしれないが。ただ纏める作業の時間が無い。
阿久津委員	そうですね。
溝上委員	箇条書きにしても。
阿久津委員	それでもいいですよ。
澤田委員	施設名が出ない方が本当の所が聞ける。その団体でリハビリならリハビリはこうやっている所とやっていない所があると言えば、他の所はああやっているんだと思える人が出してくれれば良い訳ですよね。
阿久津委員	はい。
澤田委員	ふわっとさせるのか、事業所としてドンと出すのか。
溝上委員	正解が分からないうから自信もって出す所は…。
馬渡委員	勇気がいる。
出雲委員	対策をする内容というか絞り込まないと。ざっくばらん喋って下さいというと戸惑ってしまう。情報交換であればある程度の項目を決めた上でここをお話し下さいと。その方が、時間が決めてあるので、あれば用意も出来る。
阿久津委員	アウトラインみたいな感じで。
溝上委員	その方がいいと思います。

阿久津委員	本来の目的は分野ごとというのか事業所がどんな対策をしているかを共有しようという事。団体で纏めるよりは一事業所で。団体で纏めたら一杯付いて来てしまいそれなりの形になってしまふ。
澤田委員	完成形ができてしまう。みんながやっている事になってしまふ。
阿久津委員	理想像になってしまう。本来は自分の所の事業所がやっている事が正しいのか、他の事業所を見ながら振り返る事。
溝上委員	アンケートで他の事業所はこんな事をしているのかと知れば。
澤田委員	事業所名出してしまうと難しい。
阿久津委員	事業所名出さないで代表が発表だけ。もしくは事業所名出さない。
澤田委員	例えばグローブしないといけないのは分かっているがコストがかかるからしないとは言えないですよね？
阿久津委員	そんな事は言わないでしょ？
澤田委員	他の所がゴーグルして入浴介助しているのに、曇るからうちはしないのを、他がしてるからうちもしないといけないと思うには事業所が入っていると言えないのでは。
阿久津委員	事業所名だけなくしてひとつだけを選んでもらうと良い。
馬渡委員	でも発表する人で分かってしまう。

阿久津委員	顔分かります？
澤田委員	分かる人は分かる。
阿久津委員	そうではなくて、普通に働いている人では駄目ですか？分からぬと思う。
澤田委員	ユニフォームで分かる。18時15分からなら着て来るかも。そう思うと団体の方が事業所名を出なくて良い。ただ訪看さんだと看護に限定されやすいから色々な職種がいる通所リハビリより時間が短くて済むからそこでトータルの時間数は10分以内にしておけば良い。でも難しいか。
溝上委員	アンケートで、装備はどうしていますか？通所として何か特別な対策をしているかと、ある程度質問のカテゴリーを決めて箇条書きにして、それを纏めて装備はこうしています、特殊な例もこんな感じがありましたとか。
阿久津委員	例えば、ガイドラインを作つてこの事に対して書いて下さいと一事業所に頼む。発表するのは団体の代表者が文字のとおりに発表する。
澤田委員	団体とは？
阿久津委員	通所連絡会だったら通所連絡会の代表。
澤田委員	事業所の人から一個選んでもらつてそれを代表の人が発表する。よくそれはコミュニケーションをとつて打合せして当日その代表者が発表すれば事業所名は分からぬ。

阿久津委員	団体によっては一事業所でなくても。
澤田委員	色々な事業所が付いて来るときれいな形ができてしまう。普通に A という団体はこういうのをやっていて、B という団体はこういうのをやっていると。例えば訪看さんみたいに関わる職種が少ないなら訪看 A の所ではこうやって訪看 B は訪問リハ一緒に行っているからこういうふうな形でやっていてこういう差がありましたみたいな事で良いと思う。
阿久津委員	それでも良いと思います。ただその団体に中ですり合わせはしない方が良い。
澤田委員	そうでしょうね。
馬渡委員	「A 事業所、B 事業はこんな感じでやっているそうです」みたいな感じに。
阿久津委員	そうですね。
澤田委員	もしかしたら、デイサービスとデイケアでもどう違うのか出てくるかもしれない。
阿久津委員	例えば一つのブロック、通所だったらデイサービスとデイケア 2 点、施設系だったら特養とグループホームという形で事業所ずつ出し、発表は団体の代表がやる。そうすると色々な事が聞ける。
島田委員	時間はもうちょっと一団体 15 分位はあった方が良い。15 分ずつにしても。4つで 1 時間。
阿久津委員	そうですね。で、会長が 30 分。

島田委員	アンケートもやるのですか？
阿久津委員	そうですね。
溝上委員	最後、川島会長に医介連携で纏めていただく。
阿久津委員	そうですね。これから課題だが、アンケートをどんな事を聞くか宿題にする。
島田委員	事前と事後の両方のアンケートが宿題になる。
阿久津委員	はい。事前は聞く項目。感染予防の為の項目。事後は研修終えてどうだったか。5月中のメールでぶつけていくと言う事でよろしいか。6月の会議の席で纏める。
島田委員	そこで決とらないと当初の予定の7月には間に合わない。
阿久津委員	6月の段階で各施設に送らないと。作成に1か月位は必要。
澤田委員	7月実施で宜しいですか？
阿久津委員	7月実施は厳しいのでは。8月か。
出雲委員	ワクチンの関係もある。
阿久津委員	7月一杯には終わりにすると聞いた。早くても11月。
溝上委員	イメージ的にはどの位？
事務局（春日）	今年は目途がたたない。申し訳ないが研修の組み立てなど、今

	は厳しい。
川島会長	やる気を持った発言をして下さい。皆一生懸命にやっている。 やっているのは市役所だけではない。
事務局（春日）	分かりますが、現在はワクチン接種が第1優先となっている。
阿久津委員	Zoomに決まったら、ホストをできますかと聞いたのですが、 医療センターは可能か聞いたのですが。
川島会長	是非市にお願いしたいと言っていた。 予防注射も大変ですよね。
阿久津委員	1週間で千人。
島田委員	いつでも始められるようにしておきたい。
阿久津委員	はい。今の状態だと7月は無理。開催は早くて8月か。
溝上委員	宿題の決を次の会で決める。
阿久津委員	そうですね。5月の末に宿題を作り上げそれから検討、6月の 会議で確認し、それで決めた事業所に送る。
溝上委員	市にお願いしたいところは通知と集計。
阿久津委員	まずは段取りだけずっと組んでいく。
溝上委員	決めて上げてタイミングを計る。
阿久津委員	今の話だと今年は無理。一応段取りだけどんどん組んでいく。

できるタイミングをみる。以上で終わりにします。有難う御座いました。

[開会] 19 : 15